

問1 1867年、徳川慶喜による大政奉還が行われた直後に、朝廷が発した宣言について説明した文章として正しいものはどれですか。この宣言は、徳川氏による政治を終わらせ、天皇を中心とする新政府を樹立することを目的としていました。 (2024年 香川県公立入試 類似)

1. 版籍奉還により、各地の諸侯が所有していた土地と人民を天皇に返還させ、中央集権的な国家の基盤が作られた。
2. 五箇条の御誓文により、広く会議を興し万機公論に決することなど、明治政府の新しい政治の基本方針が示された。
3. 王政復古の太号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。
4. 廃藩置県により、全国の藩を廃止して県を置き、中央政府から知事を派遣して地方を直接統治する体制が整えられた。

問2 室町時代、明（中国）に渡って本場の技法を学び、日本の自然に合わせた独自の力強い画風を確立した人物がいます。墨の濃淡のみで峻険な冬の情景などを描き、代表作に「秋冬山水図」があるこの人物の名前として正しいものを選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)

1. 歌川広重
2. 雪舟
3. 狩野永徳
4. 菱川師宣

問3 日本列島の各地に点在する火山の熱エネルギーを有効活用する「地熱発電」の仕組みや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)

1. 日本は世界有数の火山国であるが、地熱発電に適した場所がすべて平野部に集中しているため、山間部では建設できない。
2. 地下深くから取り出した高温の水蒸気を利用して発電するため、天候に左右されず安定した電力供給が可能である。
3. 太陽光発電や風力発電と比べて発電コストが極めて高いため、火山が多い地域であっても実用化は進んでいない。
4. 発電の過程で大量の化石燃料を燃焼させる必要があるが、火山の熱を補助的に使うことで二酸化炭素の排出を抑えている。

問4 田沼意次は、長崎貿易を拡大させることで幕府の財政を潤そうと考えました。当時、金や銀の海外流出を防ぐための主要な輸出貿易品として、長崎から中国（清）へ送られたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. 国内の産業を保護するために輸入を制限した、生糸や絹織物
2. 蝦夷地との取引によってもたらされた、昆布やサケなどの食料品
3. 倭物と呼ばれた、干しアワビやフカヒレ、ナマコなどの海産物
4. 琉球王国を経由して大量に輸入されていた、サトウキビやウコン

問5 第一次世界大戦の終結後に構築された国際秩序において、ベルサイユ条約の締結や国際連盟の設立と並び、アジア・太平洋地域の安定や海軍の軍備制限を目的として開催された会議は何か。 (2020年 香川県公立入試 類似)

1. ヤルタ会議
2. パリ講和会議
3. ワシントン会議
4. サンフランシスコ平和会議

問6 後鳥羽上皇が『新古今和歌集』の編纂を命じた時期の政治的な背景について、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. 源頼朝と協力して、武士と公家が協調する新しい政治体制を築こうとしていた。
2. 平氏を滅ぼした直後の混乱を抑えるため、仏教の力による国づくりを目指していた。
3. 足利尊氏を征夷大將軍に任命し、武家政権の安定を図ろうとしていた。
4. 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。

問7 為替相場の変動により、それまで1ドルを得るために90円必要だった状況から、120円必要になった状況へと変化しました。この現象の名称と、日本国内への影響について述べたものとして最も適切なものを選択してください。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. 円高の状態であり、日本への輸入品の価格が下落し、家計の負担が軽減される
2. 円安の状態であり、日本からの輸出製品の海外での価格競争力が低下する
3. 円高の状態であり、日本からの輸出製品の日本円換算での利益が減少する
4. 円安の状態であり、日本への輸入品の価格が上昇し、物価高の原因となる

問8 三陸海岸の南部や志摩半島、若狭湾周辺に見られる、山地が沈水して複雑に入り組んだ入江が形成された海岸地形を何と呼びますか。また、その地形的特徴を活かした産業として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)

1. 三角州と呼ばれ、河口付近に土砂が堆積した低湿な特徴を活かして、果樹園の経営が行われている。
2. リアス海岸と呼ばれ、波が穏やかで水深が深い特徴を活かして、真珠やカキなどの養殖業が行われている。
3. 砂州と呼ばれ、細長く伸びた砂の堆積によって波が遮られる特徴を活かして、塩田による製塩業が行われている。
4. 海岸段丘と呼ばれ、平坦な土地が階段状に広がる特徴を活かして、大規模な稲作が行われている。

問9 1960年代以降、日本の木材需給において国内生産量が減少し、輸入量への依存が高まった背景として、経済的・社会的な理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 戦後の大規模な都市開発により、日本国内の森林面積が半分以上に減少し、物理的に伐採できる木がなくなったため。
2. 貿易の自由化が進んだことに加え、円高の進行によって海外産の安価な木材が市場に広く流通するようになったため。
3. 日本国内の木材消費が、燃料としての利用から建築用へと完全に切り替わり、国内産の木材が建築に適さなくなったため。
4. 政府が環境保護のために国内での伐採を法律で全面的に禁止し、すべての木材を海外から調達する政策をとったため。

問10 藤原道長や頼通の時代には、平等院鳳凰堂に代表されるような華やかな貴族文化が栄えました。この時期、社会不安を背景に「死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰」が貴族から民衆へと広まりましたが、この信仰を何といいますか。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 浄土信仰
2. 禅宗
3. 神仏習合
4. 法華經の信仰

問11 高山気候が分布する地域では、低地にある熱帯気候の地域とは異なる生活様式が見られます。その背景となる気候の仕組みや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)

1. 標高が高い地域では太陽との距離が近くなるため、低地よりも常に気温が高くなり、熱帯気候よりも過酷な暑さとなる。
2. 高山地域では常に上昇気流が発生し続けるため、平地よりも年較差が大きくなり、激しい季節の変化が生じる。
3. 高山地域は海から遠く離れていることが多いため、水蒸気が届かず、一年を通して全く雨が降らない乾燥帯となる。
4. 標高が高い場所では空気が薄く気温が低くなるため、低緯度であっても一年中冷涼な気候が維持される。

問12 16世紀末から17世紀初頭にかけての政権の変遷と、徳川家康が権力を確立した背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. 徳川家康は、石田三成らとの関ヶ原の戦いに勝利した後、征夷大將軍に任じられて江戸幕府を開いた。
2. 徳川家康は、豊臣秀吉が大坂の陣で豊臣氏を滅ぼした直後、その功績を認められて江戸幕府を開いた。
3. 徳川家康は、関ヶ原の戦いに先立って江戸幕府を開設しており、その正当性を守るために石田三成らと戦った。
4. 徳川家康は、織田信長が足利義昭を追放した直後に、信長から政権を譲り受けて江戸幕府を開いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 王政復古の大号令により、摂政や将軍などの旧来の職を廃止し、天皇を中心とする新しい政治体制の樹立が宣言された。	大政奉還によって徳川慶喜が政権を朝廷に返上しましたが、倒幕派の岩倉具視や薩摩藩・長州藩の勢力は、徳川氏が依然として力を持つことを警戒しました。そこで、幕府を完全に廃止し、総裁・議定・参与の三職を置くなど、天皇を中心とする明確な新政府の枠組みを示すためにこの宣言が出されました。これにより、鎌倉時代から続いた武家政治が終焉を迎えました。
問2	答え 2 雪舟	室町時代の水墨画は、禅宗の影響を受けて発展しました。雪舟は当時の遣明船に乗って明に渡り、中国の風景画の技法を学びましたが、帰国後はそれを日本の感性に合わせた独自のスタイルへと進化させました。「秋冬山水図」は、力強い筆致で日本の冬の厳しさを表現した彼の代表的な作品です。
問3	答え 2 地下深くから取り出した高温の水蒸気を利用して発電するため、天候に左右されず安定した電力供給が可能である。	地熱発電は、火山の地下にあるマグマの熱を利用して高温の水蒸気を取り出し、その力で発電機を回す仕組みです。天候によって発電量が変動する太陽光や風力とは異なり、年間を通じて安定した発電ができる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。日本是世界第3位の地熱資源量を持つと言われていますが、適地の多くが国立公園内にあるなどの制約により、開発には課題も残されています。
問4	答え 3 俵物と呼ばれた、干しアワビやフカヒレ、ナマコなどの海産物	田沼意次は、貿易決済のために金銀が国外へ流出することを抑えるため、俵物（干しアワビ、ナマコ、フカヒレ）などの海産物や、銅を積極的に輸出することを奨励しました。これによって得られる利益を幕府の財政に組み込もうとしたのが、彼の重商主義的な政策の特徴です。
問5	答え 3 ワシントン会議	第一次世界大戦後の国際秩序は、ヨーロッパを中心とした「ベルサイユ体制」と、アジア・太平洋地域を中心とした「ワシントン体制」によって構成される。1921年から開催されたワシントン会議では、海軍の主力艦の保有比率を制限する軍縮条約や、中国の主権尊重、石炭資源の確保などを巡る合意がなされた。
問6	答え 4 幕府に対して朝廷の文化的・政治的優位性を示し、権威を立て直そうとしていた。	鎌倉時代初期、武家政権である鎌倉幕府が力を強める中で、後鳥羽上皇は朝廷の権威を象徴する文化事業として勅撰和歌集の編纂を行いました。このような朝廷中心の政治を目指す動きは、のちに幕府を倒そうとして兵を挙げた「承久の乱」へとつながっていきます。
問7	答え 4 円安の状態であり、日本への輸入品の価格が上昇し、物価高の原因となる	為替相場において、1ドルを交換するためにより多くの日本円が必要になる変化を「円安」と呼びます。円安が進むと、海外から輸入される小麦や原油などの仕入れ価格が日本円建てで上昇するため、国内の製品価格や光熱費が値上がりする要因となります。一方で、日本から輸出する製品は海外で安く販売できるようになるため、輸出の有利に働くという側面も持っています。
問8	答え 2 リアス海岸と呼ばれ、波が穏やかで水深が深い特徴を活かして、真珠やカキなどの養殖業が行われている。	起伏の多い山地が地殻変動によって沈んだり、海面が上昇したりすることで、かつての谷の部分に海水が入り込んで形成される地形をリアス海岸といいます。この地形は湾が奥深く、入り口が狭いため外海の影響を受けにくく、波が非常に穏やかであるという特性があります。さらに、もともと山であった場所が海に沈んでいるため水深が深く、大型の船が停泊しやすい天然の良港となったり、浮きを浮かべて行う魚介類の養殖業に適した環境を提供したりしています。
問9	答え 2 貿易の自由化が進んだことに加え、円高の進行によって海外産の安価な木材が市場に広く流通するようになったため。	1960年代から段階的に木材の輸入自由化が進められたことや、為替相場が円高に振れたことで、東南アジアや北米、ロシアなどからの輸入材が国内産よりも価格面で有利になりました。また、国内では林業従事者の高齢化や人件費の上昇により生産コストが増大したため、価格の安い輸入材との競争に敗れ、自給率の低下を招きました。森林面積自体は大きく変わっていませんが、手入れが行き届かない人工林が増加するという課題も生じています。
問10	答え 1 浄土信仰	摂関政治の全盛期には、社会の混乱や末法思想の影響により、念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ行くことを願う「浄土信仰（浄土教）」が流行しました。藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂は、この極楽浄土の様子を地上に再現しようとしたものと言われています。
問11	答え 4 標高が高い場所では空気が薄く気温が低くなるため、低緯度であっても一年中冷涼な気候が維持される。	高山気候の形成において最も重要な要因は標高です。地表から放出される熱を吸収する空気が薄くなるため、標高が上がるほど気温は低下します。このため、周辺の低地が熱帯であっても、高地では涼しい気候を利用したジャガイモの栽培やアルパカの放牧など、独自の生活文化が発達しました。
問12	答え 1 徳川家康は、石田三成らとの関ヶ原の戦いに勝利した後、征夷大将軍に任じられて江戸幕府を開いた。	豊臣秀吉の死後、次期政権を狙う徳川家康ら（東軍）と、豊臣氏を守ろうとする石田三成ら（西軍）が1600年に関ヶ原の戦いで衝突しました。この戦いに勝利して全国の主導権を握った家康は、1603年に征夷大将軍となり、江戸に幕府を開きました。江戸幕府の開設は関ヶ原の戦いの「後」であり、豊臣氏の滅亡は幕府開設よりさらに「後」の出来事です。